2006年5月26日

各　位

会　社　名　株　式　会　社　ＬＴＴバイオファーマ
（コード番号　4566　東証マザーズ）
代表者名　代　表　取　締　役　社　長　　稲垣　哲也
本店所在地　東京都港区愛宕二丁目5番1号
問合せ先　取締役経営管理本部長　　仲田　博人
Ｔ　Ｅ　Ｌ　03－5733―7391

中国における貼付剤開発に関する共同開発契約締結のお知らせ

株式会社LTTバイオファーマ（以下、「当社」、代表取締役社長：稲垣哲也）は、三笠製薬株式会社（以下、「三笠製薬」、代表取締役社長：緒方　巧 JASDAQ：4542）と北京泰徳製薬有限公司（以下、「泰徳製薬」、総経理（代表取締役社長）劉　紅星）との三者間において、三笠製薬が国内で発売している医療用外用剤「ゼポラス」の同等品、一般薬である「ゼノール（冷感）」及び「ゼノール（温感）」の同等品を中国で製造・販売することについて定めた「共同開発契約」を、2006年5月25日に締結いたしましたのでお知らせいたします。

1．共同開発契約の目的及び内容

当社の関係会社である泰徳製薬はこれまで中国地域においてリポPGE1製剤の製造、販売を行っており、当社グループでは同社の利益を持分法損益として取り込んでいます。現在同社が販売する品目は本製剤1品目のみでありますが、同社では新工場の建設によって生産体制の拡充を図っており、今後中国においてリポPGE1に次ぐ新製品の製造販売を行う必要があります。同社にてリポPGE1以外の製剤の製造販売を実施していくためには当社の協力が必要とされる状況にあり、今回三笠製薬とのライセンス交渉に関与、締結に到ったものです。当社はライセンスへの協力、開発への助言指導などの対価として契約金を受けることになっております。また当社は、泰徳製薬の売上増加により受け取る配当金の増加が期待できます。

今後の予定といたしましては、本年中に泰徳製薬が中国において治験申請をおこない、2007年中の治験終了及び製造承認申請おこなう計画です。なお現在、中国では医療用貼付剤は発売されておりません。

2. 開発品の概要

(1)ゼポラス

非ステロイド鎮痛・消炎薬であるフルルビプロフェンを主成分とする医療用の貼付剤です。

適応症:変形性関節症、肩関節周囲炎、テニス肘、筋肉痛

(2)ゼノール

① ゼノールしっぷぴたっと＜冷感タイプ＞

サリチル酸グリコールの消炎効果と高含水基剤の冷しっぷ効果があります。

適応症:関節痛、筋肉痛、捻挫

② ゼノールしっぷ＜温感＞

トウガラシエキスによる刺激効果と血行促進効果があります。

適応症:腰痛、肩こり等

医療用ゼポラス、一般薬ゼノール①②ともに伸縮性の高い不織布を使用し、肘、膝等の動きの多いところでも十分付着し、効果を発揮します。

3. 今後の業績に与える影響

今後の業績に与える影響につきましては明確になり次第お知らせいたします。

【株式会社 LTT バイオファーマ 会社概要】

社　　名 : 株式会社 LTT バイオファーマ

本社所在地 : 〒105－6201 東京都港区愛宕 2-5-1 26F

設　　立 : 2004 年 1 月

代 表 者 : 代表取締役社長 稲垣 哲也

事 業 内 容 : DDS 技術を利用した医薬品等の研究開発

U R L : http://www.ltt.co.jp/

【三笠製薬株式会社 会社概要】

社　　名 : 三笠製薬株式会社　ジャスダック上場(コード4542)

本社所在地 : 〒176-8585 東京都練馬区豊玉北二丁目3番1号

設　　立 : 1948 年 12 月

代 表 者 : 代表取締役社長 緒方 巧

事 業 内 容 : 医薬品等の製造販売

U R L : http://www.mikasaseiyaku.co.jp/

【北京泰徳製薬有限公司　会社概要】

社　　名 ： 北京泰徳製薬有限公司

本社所在地 ： 中国北京市朝陽区和平北里櫻花東路　中日友好病院内

設　　立 ： 1995 年5月

代　表　者 ： 総経理(代表取締役社長)劉　紅星

事 業 内 容 ： 各種医薬品等の研究、開発、製造販売

U　R　L ： http://www.tidepharm.com/

お問い合わせ先

株式会社LTTバイオファーマ　経営管理本部　IR担当

電話番号 03-5733-7391

E-mail: ir@ltt.co.jp